

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 1432

事業名	小中学校組合給食センター学校給食業務委託		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	教育部	教育総務課		款	教育費・10款
電話	0799 - 37 - 3017			項	保健体育費・6項
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	学校給食費・2目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱 まちづくりの目標 施策目標	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり 一人ひとりが明日を拓くリーダー【教育】 子ども達や市民が、南あわじ市の未来を切り拓くための、多様な能力を身につける機会を提供する			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助	

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	対象(誰を・どのような状況の人に)	倭文小・中学校の児童、生徒及び教職員		対象人数(人)	162	
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 日常生活における食事について、正しい理解と習慣を養う。学校生活を豊かにし、明るい社交性を養う。食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図る。食糧の生産、配分及び消費について、正しい理解に導く。				
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 南あわじ市・洲本市小中学校組合給食センターに学校給食業務を委託し、南あわじ市立倭文小・中学校の児童、生徒及び教職員に給食を提供している。 倭文小学校児童数 106人、教職員 13人 倭文中学校生徒数 29人、教職員 14人				
	背景、委託根拠	(どのような現状・課題・要望があったか、また委託に至った根拠、他の自治体の動向) 旧緑町においては、洲本市と昭和32年、緑町・洲本市小中学校組合を設立し、広田小・中学校を設置している。また、昭和49年、学校給食法第4条の規定により、学校給食を充実させるため、その調理等の業務を一括処理する施設として緑町・洲本市小中学校組合給食センターを設置し、倭文小・中学校の児童及び生徒に提供する学校給食業務を委託しており、合併後も南あわじ市・洲本市小中学校組合給食センターに学校給食業務の委託を継続している。				
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他	(南あわじ市・洲本市小中学校組合)		
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧緑町と緑町・洲本市小中学校組合において実施していた事業であるため、合併協議による事務調整は行われていない。					

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	年間給食実施日数	指標単位 日			
	指標説明 (指標算出方法等)	倭文小・中学校での給食実施日数の合計値				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	367	369	370	370	
	実績値	367	369	369		
	達成度 (%)	100.0	100.0	99.7	-	
目標値設定の考え方	前年度の倭文小・中学校での給食実施日数					
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	給食供給割合	指標単位 %			
	指標説明 (指標算出方法等)	給食供給数 ÷ 給食対象者 × 100				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	100	100	100	100	
	実績値	100	100	100		
	達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	-	
目標値設定の考え方	倭文小・中学校給食対象者全員					
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	直接事業費 (千円)	5,456	5,863	5,894	5,101	
	小中学校組合給食センター運営委託料	5,456	5,863	5,894	5,101	
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	5,456	5,863	5,894	5,101	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1	
	事業量1(事業に要した日数)					
	事業量2(事業に要した人数)					
	年間経費([A]+[B])	5,456	5,863	5,894	5,101	
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	33.7	36.2	36.4	31.5		
受益者人数(162)1人当り経費(千円)	33.7	36.2	36.4	31.5		
経費に関する補足説明						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		%	100.0	100.0	99.7	-	
(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 倭文小・中学校において、計画どおりに学校給食は実施されている。							3
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		%	100.0	100.0	100.0	-	
	成果向上率	%	-	0.0	0.0	-	
(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 南あわじ市・洲本市組合立広田小・中学校が学校給食を実施しない場合でも、南あわじ市・洲本市小中学校組合給食センターにおいて倭文小・中学校の学校給食業務を実施している。							4
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		千円	14.9	15.9	16.0	-	
	効率性増減率	%	-	6.9	0.5	-	
(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 学校給食委託業務1日あたりの経費が表示されているが、経費の減は学校給食に携わる調理師等の減にも関わるため、難しいと思われる。							3
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低					自己評価 (5点評価)
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 将来を担う児童及び生徒の心身の健全な発達に資し、学校給食を通して日常生活における食事について、正しい理解と習慣を養う必要性は高い。						
							4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 学校給食を実施することで、日常生活における食事について、正しい理解と習慣を養うことは、児童及び生徒の心身の健全な発達に資し、保護者の子どもの健康維持に対する不安解消に寄与している。						<p>評価グラフ</p>

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	昭和49年、緑町・洲本市小中学校組合給食センター設置当初から、倭文小・中学校の児童及び生徒の学校給食業務を委託しており、学校給食法に規定する目標を実現するため、学校給食業務の委託を継続したい。	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 学校給食業務の委託を廃止することになれば、倭文小・中学校の児童及び生徒に提供する学校給食については、南あわじ市学校給食センターから提供する必要が生じる。 南あわじ市学校給食センターへの移管に伴う問題点 南あわじ市・洲本市小中学校組合給食センター正規職員の処遇(調理員3名) 南あわじ市学校給食センターの施設改善(収納能力をオーバーするため消毒保管庫の増設等)	